

High♥Line Wakabayashi はいらいん若林

みんなでここさ

入らいん!

若林区まちづくり協議会会報

2025.3.1

Vol.28



1928年沖野地区



2020年沖野・上飯田・下飯田



※国土地理院
地図・空中写真
閲覧サービスの
空中写真より

まず、沖野・上飯田・下飯田の歴史を覗いてみましょう。沖野地区には、16世紀末に廃城となった沖野城が七丁目にありました。現在は住宅地などになっています。沖野八幡神社は、地域の守護神として室町時代に勧請されたと言われています。上飯田地区には、平安時代に日辺に勧請された飯田八幡神社が変遷の後、鎮座しており、下飯田地区では、古墳時代後期に形成された下飯田遺跡、下飯田東遺跡が発掘されています。近隣に下飯田

学びの環境も充実

また、沖野中学校・沖野小学校・沖野東小の3校は、『沖野学園』という名称で、連携した教育活動が行われています。義務教育の9年間、一貫した教育方針の下で子どもを育成していくことを目的にスタートした、中学校区・学びの連携モデル事業のモデル校として、平成23年に仙台市教育委員会から指定されました。更に、上飯田・下飯田地区も、多くの

古墳時代からの居住地

若林区
探訪
その14

今回は、若林区のほぼ中央に位置する沖野・上飯田・下飯田地区をご紹介します。国道4号線の東部に位置し、南には広瀬川、東には豊かな田園地帯が広がります。住宅地として開発されてきましたが、古墳時代から居住地となっていた歴史もある地域です。

良好な農耕地と住宅地が混在するまち

薬師堂古墳があり、現在は薬師堂が建立されています。古墳時代から居住地というこの地域は、住みやすいところなのでしょう。

自然を感じながら

現在では、人情味溢れる昔ながらの商店街が残る一方、閑静な住宅地も多く、おしゃれなカフェやベーカリーも目立ちます。そこには、住みやすさと利便性を兼ね備えた地域の特性を活かした魅力があります。



会報の愛称「はいらいん若林」とは

仙台弁の「入らいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路などの意)をかきあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

若林区の職人さん

◆◆加納木地店(沖野3丁目) 加納 博さん/加納 陽平さん◆◆



美しい紅葉と、澄み切った空気を味わいながら、仙台北城址を訪れたのは、本丸会館で専属こけし工人として働く、加納陽平氏を尋ねるためでした。大勢の観光客が行き交う路に面した店の一角に、陽平氏は作業場を構えていました。が、轆轤を回しながらのこけし作りに余念がない様子で、声をかけるのがはばかられたほどです。陽平氏は、木地師でこけし工人の加納博氏の二男で、綿々と続いている木地師の系譜を守る、「加納木地店」の若き継承者です。

若林区沖野に工房を持っています。加納博氏は、先代の遺志を受け継ぎ、早くから木地職人として、主に生活用品を製造してきましたが、こけし製作においても修練を重ね、今や、作並系伝統こけし作りを継承する「日本の伝統工芸士」に認定されています。

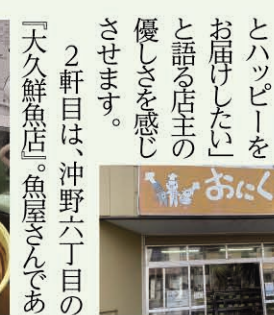
現在、加納氏親子が製作するこけしの種類は、伝統的なものから独創的なものまで数多くありますが、中でも陽平氏発案の「独眼竜なないろうさぎ」は、お土産に大人気です。これは、政宗公の干支と七色の福を組み合わせたもので、従来のこけしの型にとらわれず、立体的な耳をつけるという、若々しい感性には驚かされます。と同時に、後継者不足が叫ばれる昨今、父から子へと、着実に技と心が受け継がれている姿に、胸を熱くしました。



せんだいわらアート実行委員会
せんだいわらアート実行委員会は、平成27年の地下鉄東西線開業イベントから始まり、東日本大震災津波被災地である若林区沿岸部のわらを用いた復興とまちづくりとして、「わらアート」の制作・展示のほか、各種イベントを行ってきました。

おかげさまで、目標としてきた震災からの復興、沿岸部の賑わいづくり、更にはまちづくりにおいても一定の成果を上げることができたと考え、令和6年9月をもって実行委員会を解散いたしました。これまでのご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

実行委員長 広瀬剛史



古い街並みや細い路地も多い若林区。地元の方が行きつけにする、心地よいお店を紹介いたします。

まず1軒目は、今泉一丁目のその名も『おにくやさん』。お肉は全て国産、たくさんのお惣菜は日によって変わるこだわりの「おにくやさん」客さんに健康とハッピーをお届けしたい」と語る店主の優しさを感じさせます。

2軒目は、沖野六丁目の『天久鮮魚店』。魚屋さんでありながら、店内には所狭しと肉、野菜、お惣菜が並び、自らを地域・時代に合わせた「便利屋さん」とおっしゃる店主。「自家製イカの塩辛」は、運が良ければ出会える逸品です。

3軒目は、若林三丁目の『仙臺たんこいち福』。寿司職人だった先代が米にこだわっていたため、息子さんたちに引き継がれた今でも、毎日ササニシキを蒸かして団子作りをしています。

そのお団子は、なめらかでコシのある食感が特徴です。

明るい声と笑顔に癒やされて何度も訪れたくなる……若林区を散策すると、そんなお店が見つかるかもしれません。

若林区まちづくり協議会

事務局 若林区役所まちづくり推進課内
〒984-8601 若林区保春院前丁3-1
TEL 282-1111

会報プロジェクトメンバー

勝又 久雄 菅原 まゆみ
西條 芳郎 高山 顕治
齋藤 初実 林 克恵
志子田 喜恵子 米倉 正子

編集後記

今号からメンバーとして参加させていただきましました。何気なく通っていた道を、周りを見ながら歩いてみる。それが私のメンバーとしての活動の第一歩でした。二歩目は、いつもは通らない細い道に入ってみたことです。たったそれだけのこともかもしれませんが、沢山の笑顔に出会い、街並みの美しさに気づけました。ご協力くださった店舗の皆様、関係者の皆様、ありがとうございます。(齋藤)

令和6年度 活動報告

若林区まちづくり協議会総会

若林区まちづくり協議会は、区民一人ひとりの創意と参加により、住みよい魅力のあるまち若林区を目指し、行政と協働によるまちづくりの推進を目的としています。

今年度の総会は、5月10日に、せんだい農業園芸センター研修室で行われました。今年は、役員改選もありましたが、議事はすべて満場異議なく承認されました。

若林区合唱のついで

7月6日、第31回「若林区合唱のついで」が、聖和学園高等学校薬師堂キャンパス・サールナートホールで開催されました。14団体の歌声に会場も一体となり、豊かな時間を共有することができました。若林区文化センターの改築により、この2年は聖和学園高等学校及び関係者の皆様に感謝いたします。



若林区民ふさとまつり

10月20日、第36回「若林区民ふさとまつり」にお越しいただきありがとうございました。

本年は選挙の日程の関係で一部会場縮小での開催となりましたが、出展数を減らすことなく皆様をお迎えすることができました。当日は少し冷たい風が吹いてはいましたが、晴天に恵まれ、多くの来場者の参加を得て、とても活気あるおまつりになったと思います。

関係各所のご理解ご協力にこの場を借りて心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

若林区民ふさとまつり
実行委員長 日下 利治



今回、クイズラリーと手形アートの運営をし、区民の皆様楽しんでいただけるよう準備を重ねた結果、両企画共に大盛況となりました。また、企画運営に際し、実行委員会や若林区職員の皆様から多くのご支援をいただき、充実感と達成感を得られた貴重な経験となりました。ありがとうございました。

特別企画班
大学生ボランティア 坂本 彩歌



見えてきた 海手の魅力

仙台市東部沿岸地域(仙台海手エリア)には、海岸線や様々な生物を観察できる干潟や湿地、貞山運河、実り豊かな田園のほか、季節を問わず人々が訪れる商業施設など、様々なスポットがあります。そして、水辺のアクティビティはもちろん、乗馬体験、ショッピングや観光など、幅広い世代の方々が四季を通じて思い思いの時間を過ごすことができるエリアです。また、震災によって被災された方々に思いを馳せるとともに、震災の記録や地域の歴史、豊かな自然環境などの多様な学びのフィールドでもあります。

現在、仙台海手エリアでは、地域住民・団体、民間事業者、行政機関等が、この地域の活性化に向け、それぞれの強みや震災からの復興に対する想いを活かした活動を行っています。新たなにぎわいが生まれている仙台海手にぜひお越しください。

若林区海浜エリア活性化企画室長 能登 幸基

R6年 夏の思い出

14年ぶりに深沼海水浴場再開

7/15(祝)～8/18(日)

入場制限(1日800人)があったものの海の家も復活して、夏休みを満喫!

せんだい海手線ループバス運行

7/1(日)～9/30(日)

海手をぐるっと回るバスは、各施設を結ぶ便利なアシ!

ぐるっと、海手おでかけスタンプラリー

9/5(木)～11/30(土)

▲区役所・市民センター・仙台駅等で配架。このMAP片手に、「仙台海手」をまるっと楽しもう。

暮らしに+せんだい海手リゾートスタンプラリー2025

令和7年 1/10(金)～2/28(金)

たくさんのスポットを回って、海手エリアの魅力を体感しよう!

※災害に備えた避難場所も整備されています。

避難ビル・タワー

- 笹屋敷津波避難ビル
- 三本塚長屋敷津波避難タワー
- 三本塚津波避難ビル
- 井土津波避難タワー
- 二木津波避難ビル
- 種次津波避難ビル

避難の丘

- ▲避難の丘(海岸公園荒浜地区)
- ▲避難の丘(海岸公園冒険広場)
- ▲避難の丘(荒浜小学校南側)
- ▲避難の丘(藤塚地区)

荒浜地区エリア

1 海岸公園センターハウス(レンタサイクルもあるよ～)
海岸公園各施設の総合案内所としての機能もあり、楽しい企画も。「仙台市ふるさと」の杜再生プロジェクトの「育樹会」では、多くの市民が緑の再生に参加している。

2 深沼海岸
T.P(東京湾平均海面)+7.2mの防潮堤には、津波の脅威を和らげる役割が。令和6年夏には14年ぶりに深沼海水浴場が再開。

3 海辺の図書館
荒浜の地域全体を「図書館」、そこに集う人を「蔵書」に見立て、津波によって失われた海辺の町の記憶と記録を継承している。毎月「深沼ビーチクリーン」を実施。

4 震災遺構仙台市立荒浜小学校
校舎2階まで津波が押し寄せ、児童や教職員、住民ら320人が避難したその校舎を震災遺構として公開し、東日本大震災の教訓と地域の記憶を伝えている。

*震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎
住宅の基礎を保存することで、ここでの暮らしの様子や津波の脅威を伝えている。

*防災集団移転跡地地活用
津波被害のために「災害危険区域」に指定され、人が住まなくなってしまう地域。元には戻れないけれど、新しい日常をつくるために、民間の自由な発想で事業を進めている。

井土地区エリア

5 海岸公園馬術場
2001年にみやぎ国体の「馬術競技」の会場として設立され、その後「市民スポーツ」としての乗馬の普及振興」を目的に運営。誰でも馬に会えて触れ合える公園。

6 海岸公園冒険広場
54区画あるデイキャンプ場と、自由に遊べる冒険遊び場(プレーパーク)がある。防災時に、この公園の高台で命が救われたことにより、その後700人が避難できる「避難の丘」第1号として整備された。園内には津波の痕跡を残すものが保存されている。

藤塚地区エリア

7 井土浦
環境省の「日本の重要湿地500」に選定された地域。

8 藤塚地区地域モニュメント
東日本大震災で犠牲となられた方々の追悼・鎮魂と、藤塚地区の暮らしや震災の記憶を伝えている。

*防災集団移転跡地地活用
食・農・温泉の複合施設がある。(荒井駅発着のシャトルバスあり)

その他

9 せんだい3.11メモリアル交流館
地下鉄東西線荒井駅内にあり、東日本大震災を知り、学ぶための場。交流スペースや展示室、スタジオといった機能を通じて、震災や地域の記憶を語り継いでいくための場所になっている。

10 せんだい農業園芸センター
体験プログラムや貸し農園の運営、農産物の加工・販売などにより、農業の普及に努めている。また、仙台市の花の名所として、四季を通じて園内でゆっくりとした時間を過ごすことができる。

東日本大震災から14年。亡くなられた方々や、失くしてしまった風景を思うと、何年たってもその悲しみは消えることはありません。それでも、少しずつ沿岸部は賑わいを取り戻しつつあり、「新しい景色」が見え始めました。令和6年夏には、海水浴場の再開やループバスの運行、スタンプラリーの実施など、沿岸部へ足を運ぶきっかけとなる数々の企画が実施されました。震災の記憶や記録を残しながら新しいエリアづくりに向かう「仙台海手」に、注目していきましょう。

若林わくわくドキ!!まち歩き

若林区の魅力を知ってもらうため、3回のまち歩きを行いました。

①4月 わかばやしを歩く桜通り編

②6月 七郷堀と染職人

③11月 荒浜の展望、震災から13年、今年度は、新たな取り組みとして、東北福祉大学の学生メンバー3名が企画段階から参画しました。

スポ・レク・フェスタ実行委員会は、10種目の大会を行い、それぞれ熱戦の中で幕を閉じました。ふるさとまつりでは、一つの班として活動し、リサイクルステーションを担当して、ごみの分別・減量化・減容化に努めています。

班長 堀江 新一郎



ラチオはいらいん若林

7月、翌3月の毎週土曜日に放送されている、若林区の魅力を発信している番組です。

今年度は、子ども記者(小学生)の駄菓子屋取材を始め、5人の大学生スタッフとともに、海浜エリアや商店街、史跡などいろいろな場所に取材に行きました。土曜の朝は、ぜひ周波数(左表参照)を合わせてみてください。



令和7年度 若林区まちづくり協議会の行事予定			
4・5月	役員会・総会	8・11月	若林区 スポ・レク・フェスタ
7月	若林区合唱のついで(第1土曜日)	10月	若林区民 ふるさとまつり
7・翌3月	76.2MHz ラジオ3にて 第1～4土曜日の 午前10時～ 「ラチオはいらいん若林」放送	2月	若林区 まちづくり交流会
		3月	会報「はいらいん若林(vol.29)」発行

※詳しくは「市政だより」「若林区ホームページ」等でご案内いたします。
http://www.city.sendai.jp/waka-katsudo/wakabayashiku/machizukuri/kyogikai/index.html